

# JA水郷つくば

## 1. 基本的事項

### (1) 概要（令和4年7月31日現在）

- ①名称 ・ 水郷つくば農業協同組合
- ②所在地 ・ 茨城県土浦市小岩田西1-1-11
- ③設立年月日 ・ 平成31年2月1日
- ④地区 ・ 土浦市、龍ヶ崎市、牛久市、かすみがうら市、稲敷郡美浦村、稲敷郡阿見町、北相馬郡利根町
- ⑤組合員数 ・ 正組合員 15,693名  
・ 准組合員 12,254名
- ⑥役員数 ・ 48名（理事 40名・監事 8名）
- ⑦職員数 ・ 278名（男性 205名・女性 73名）

### (2) 主な農畜産物

【米】 コシヒカリ、あきたこまち、ふくまる

【野菜】 れんこん、マッシュルーム、みつば、大根、トマト

【果実】 なし（豊水、幸水、新高）、栗、スイカ

【花卉】 グラジオラス、小菊、アルストロメリア

### 令和4年4月1日現在

- 【銘柄産地】
- ①れんこん （土浦市、かすみがうら地区、阿見町）
  - ②グラジオラス （土浦市）
  - ③小菊 （龍ヶ崎市、牛久市）
  - ④大根 （牛久市）
  - ⑤トマト （龍ヶ崎市）

- 【銘柄推進産地】
- ①なし （新治地区、千代田地区）
  - ②すいか （牛久市、阿見町）
  - ③アルストロメリア （土浦市）

### (3) 子会社名と事業の内容

- ①子会社名：（株）JAアグリパワー土浦

（主な事業内容：農作業受委託、農業生産、加工販売）

## 2. 歴代常勤役員（理事・監事）

### （1）組合長

①平成31年2月～ 池 田 正

### （2）副組合長

①平成31年2月～令和 2年4月 木 村 透

②平成31年2月～令和 2年4月 糸 賀 一 男

### （3）専務

①平成31年2月～令和 2年4月 完 賀 浩 光

②平成31年2月～令和 2年4月 中 山 敏 之

### （4）専務（金融担当）

①平成31年2月～令和 2年4月 石 引 英 世

②令和2年 4月～ 糸 賀 一 男

### （5）常務

①平成31年2月～令和2年 4月 重 田 一 男

②平成31年2月～令和2年 4月 小 貫 正 美

③平成31年2月～平成31年3月 菅 原 栄 一

④平成31年4月～ 石 井 美 晴

⑤令和2年 4月～ 油 原 正 明

### （6）常勤監事

①平成31年2月～平成31年4月 飯 塚 久 夫

②平成31年2月～令和 元年5月 酒 寄 泰 明

③平成31年4月～令和 2年4月 宮 本 茂

④平成31年2月～ 根 食 勝 雄

## 3. 合併前のJAの概要

### （1）合併の概要

農業や金融をとりまく社会・経済環境の変化に対応していくため、規模拡大による経営資源の効率的配置と高度かつ専門的な事業機能の発揮により、強固な経営基盤の確立と組合員間の連携を一層強化することが緊急の課題でありました。

そのため、県南地区の3JAによる広域合併を実現することで、将来的にわたり組合員・地域住民の負託に応えるべく、平成31年2月1日、JA竜ヶ崎、JA土浦、JA茨城かすみの3JAが合併し、新たに「水郷つくば」が発足しました。

## (2) 合併前の組合の概要

### <竜ヶ崎農業協同組合>

#### 1) 概要 (平成31年1月31日現在)

- ①名 称 ・ 竜ヶ崎農業協同組合
- ②所 在 地 ・ 茨城県龍ヶ崎市8200
- ③設立年月日 ・ 昭和63年2月1日
- ④地 区 ・ 龍ヶ崎市、牛久市、北相馬郡利根町
- ⑤組 合 員 数 ・ 正組合員 4,835名  
・ 准組合員 4,387名
- ⑥役 員 数 ・ 25名 (理事 20名・監事 5名)
- ⑦職 員 数 ・ 94名 (男性 72名・女性 22名)

#### 2) 歴代常勤役員 (理事・監事)

##### ①会長

- 1) 平成23年4月～平成31年1月 増 田 照 樹

##### ②組合長

- 1) 平成23年4月～平成26年4月 宇 田 勝 利
- 2) 平成26年4月～平成29年4月 野 口 浩
- 3) 平成29年4月～平成31年1月 木 村 透

##### ③専務

- 1) 平成23年4月～平成26年4月 飯 田 光 夫

##### ④常務

- 1) 平成26年4月～平成28年6月 中 島 清 樹
- 2) 平成28年7月～平成31年1月 中 山 敏 之

⑤常務（金融担当）

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1) 平成23年4月～平成26年4月 | 相 田 隆 司 |
| 2) 平成26年4月～平成31年1月 | 重 田 一 男 |

⑥常勤監事

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1) 平成23年4月～平成26年4月 | 野 口 浩   |
| 2) 平成26年4月～平成31年1月 | 酒 寄 泰 明 |

<茨城かすみ農業協同組合>

1) 概要（平成31年1月31日現在）

- ①名 称 ・ 茨城かすみ農業協同組合
- ②所 在 地 ・ 茨城県稲敷郡美浦村郷中2661-3
- ③設立年月日 ・ 平成17年8月1日
- ④地 区 ・ 稲敷郡美浦村 稲敷郡阿見町
- ⑤組 合 員 数 ・ 正組合員 2,427名  
・ 准組合員 1,899名
- ⑥役 員 数 ・ 24名（理事 20名・監事 4名）
- ⑦職 員 数 ・ 51名（男性 40名・女性 11名）

2) 歴代常勤役員（理事・監事）

①会長

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1) 平成17年8月～平成31年1月 | 葉 梨 衛 |
|--------------------|-------|

②組合長

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1) 平成23年4月～平成29年4月 | 神 田 勝   |
| 2) 平成29年4月～平成31年1月 | 糸 賀 一 男 |

③副組合長

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1) 平成17年8月～平成31年1月 | 石 引 英 世 |
|--------------------|---------|

④常務

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1) 平成23年4月～平成29年4月 | 糸 賀 一 男 |
| 2) 平成29年4月～平成31年1月 | 菅 原 栄 一 |

⑤常勤監事

- 1) 平成23年4月～平成29年4月 安 達 康 男  
2) 平成29年4月～平成31年1月 飯 塚 久 夫

<土浦農業協同組合>

1) 概要 (平成31年1月31日現在)

- ①名 称 ・ 土浦農業協同組合  
②所 在 地 ・ 茨城県土浦市田中1-1-4  
③設立年月日 ・ 平成6年2月1日  
④地 区 ・ 土浦市 かすみがうら市  
⑤組 合 員 数 ・ 正組合員 8,890名  
・ 准組合員 5,414名  
⑥役 員 数 ・ 31名 (理事 26名・監事 5名)  
⑦職 員 数 ・ 206名 (男性 139名・女性 67名)

2) 歴代常勤役員 (理事・監事)

①組合長

- 1) 平成20年7月～平成29年6月 佐 野 治  
2) 平成29年6月～平成31年1月 池 田 正

②専務

- 1) 平成22年4月～平成28年4月 小 野 豊  
2) 平成28年4月～平成31年1月 完 賀 浩 光

③常務

- 1) 平成25年4月～平成29年6月 小 貫 正 美

④常務 (金融担当)

- 1) 平成25年4月～平成29年6月 池 田 正  
2) 平成29年6月～平成31年1月 小 貫 正 美

⑤常勤監事

- 1) 平成24年7月～平成27年6月 横 瀬 典 生  
2) 平成27年6月～平成31年1月 根 食 勝 雄

## 4. 事業の推移（概況）

### （1）地域農業振興の取り組み

【青果物】（令和3年度販売高：65億7,180万円）

#### 1) れんこん：「日本一の産地」

れんこんの「認知度アップ」と「消費拡大」を目的に、テレビをはじめとするマスコミ取材を積極的に受け入れてきました。

トップセールスに力を入れ、組合長自られんこんのPRを実施しています。既存の食べ方以外に新たなレシピを開発するため、大手食品メーカーとの連携を強化してきました。結果としてコラボレーションメニューの開発につながっています。

また、SNSを活用した情報発信に力を入れてきました。ポータルサイト「れんこんチャンネル」では、レシピ動画を多数アップし、情報発信を行っています。

様々な取り組みの結果として、れんこんの認知度が上昇し、れんこんの販売高の増加に貢献しています。

<れんこん：令和3年度実績>

- ・栽培面積636<sup>ヘクタール</sup>                      販売高    35億8,924万円
- ・うち、市場外流通の拡大    販売高    1億6,445万円



霞ヶ浦蓮根部会 県銘柄産地指定交付式



れんこん真空パック



れんこん目ぞろえ会にて

## 2) 大根

農産物生産拡大の取り組みとして、平成24年に設立した大根洗浄選別施設を令和2年3月にライン増設を行い、労力負担の軽減と販売拡大による販売力強化によって、契約販売の割合増加により価格の安定及び底上げなどに貢献しました。

結果、栽培面積は大根洗浄機設置前の17.6<sup>ヘクタール</sup>（平成23年度）から54<sup>ヘクタール</sup>（令和3年度）と約3倍に増加し、契約販売割合も45%（令和3年度）に向上しました。

栽培方法の特徴として部会独自の栽培基準を作成し、防除基準を定め、低農薬に努めている一方、品質重視で作期に合った品種の選定を行い規格・品質の揃ったものを出荷しています。

令和4年4月に大根生産部会青年部を発足し（会員10名）、青年部を中心に地元野菜のPRの場として直売所・スーパー等でイベントを実施しました。

### <大根：令和3年度実績>

- ・栽培面積54<sup>ヘクタール</sup>、販売高1億7,869万円
- ・令和2年3月に国補事業による大根洗浄選別施設を拡張（平成31年度茨城県農業・食品産業強化対策事業を活用）



大根目ぞろえ会の様子①



大根目ぞろえ会の様子②

## 3) マッシュルーム（令和3年度販売高：11億2,371万円）

昭和50年代、管内にあるJRA美浦トレーニングセンターの厩肥をマッシュルーム栽培に利用し、生産が盛んになりました。都内の量販店を中心にマネキンによる試食販売や消費宣伝活動に力を注いできました。

また、美浦村の直売所にはマッシュルームのコーナーを常置しており、地元でもイベントの目玉商品となっています。



マッシュルームの栽培



マッシュルーム商品

#### 4) トマト

「龍ヶ崎トマト」(品種名：レディファーストトマト)のブランド名で、都内や地元のスーパーでのマネキンによる試食販売や地元ホテルへの売り込みを展開してきました。また、マスコミ等にも取り上げられ、全国区でPRも行われています。



「龍ヶ崎トマト」県銘柄産地指定交付式



「龍の泉」

#### 5) 栗

平成26年に栗選果場の設備更新を行い、選果能力の向上を図りました。令和3年には、香港向けに輸出を開始しました。

<栗：令和3年度販売実績>

・栽培面積126ヘクタール 販売高9,161万円



栗選果場 選果作業の様子①



栗選果場 選果作業の様子②



## 【水田農業】

安全で安心、良質な米の産地を目指し、生産に取り組んできました。管内の主な銘柄は「コシヒカリ」、「あきたこまち」、「ふくまる」、等です。

特に特別栽培コシヒカリ「美浦そだち」は、美浦トレーニングセンターの敷きワラ完熟堆肥を利用し、化学肥料と農薬を極力減らして栽培を行っています。

平成18年度から現在まで茨城県産コシヒカリの代表として生産量や栽培法、食味等を基に選ばれた8銘柄の「茨城の誇るコシヒカリシリーズ」の一つにも選ばれた良質米です。

米穀の販売方式は、平成18年度より導入したJA独自の買取販売が主体で、令和3年度においては全体の95%を占めました。販売代金の早期精算と有利販売に取り組んできましたが、令和4年度からはJA独自の共同計算方式を導入し、委託販売へ転換しました。

卸売を中心としながら、管内の直売所での販売やJA精米センターでの搗精販売を行っています。平成17年度より稼働した「竜ヶ崎精米センター」で搗精された精米は、管内スーパーで取り扱われ定番商品となっています。

業務用米の契約栽培は平成28年度より本格的に開始しました。特に「ほしじるし」の契約栽培は、同一の実需者と令和4年度現在も継続して行われています。また、令和3年度からは、初めて複数年（3年－5年）価格固定の業務用契約栽培に取り組み、農業経営の安定化に取り組んでいます。

米の生産調整は、管内各地において加工用米・新規需要米（飼料用・米粉用・新市場開拓用）の作付けが行われています。生産調整は喫緊の課題であり、農家手取り増大のために作付け拡大を図ってきました。平成28年には、輸出需要を見据え土浦市産「ゆめひたち」が全農県本部を通じ、初めて輸出されました。（輸出先：イギリス）当時の輸出の試験的な取り組みでしたが、JAグループ茨城として初の取り組みです。

<米：令和3年度実績>

○米集荷実績	集荷数量	10,345トン
・うち、主食用		6,746トン
・うち、水田活用米穀		3,599トン

## ○業務用米の複数年契約栽培の取り組み

- ・契約面積 99<sup>ヘクタール</sup>
- ・契約数量 534トン

## 【花卉】

「関東東海花の展覧会」や「茨城県花の展覧会」、「I F E X国際フラワーEXPO」へ出展し、産地として継続的なPRを展開してきました。

また、地元高校華道部への花材提供、市場へのサンプル展示なども実施しています。普及センターと連携して端境期、高温期、連作障害対策等の生産技術の確立に向け取り組んでいます。

### <花卉：令和3年度実績>

- ・グラジオラス 栽培面積24<sup>ヘクタール</sup> 販売高2億87万円
- ・小菊 栽培面積12.5<sup>ヘクタール</sup> 販売高1億1,789万円



グラジオラス



グラジオラス 選別作業の様子

## 【直売所・インショップ】（令和3年度取扱高：20億300万円）

農産物直売所は管内に10店舗を運営するとともに、インショップとして県内、東京、埼玉のスーパー25店舗へ展開しています。

なお、平成29年3月、美浦村の地域交流会館みほ・ふれ愛プラザ内に「物産館」を開設しました。

また、令和2年4月、土浦市粕毛の農産物直売所を土浦市小岩田のJA新本店1階に移転し、「サンフレッシュ土浦店」を開設しました。

令和3年度の年間来場者数103,929名、売上高2億9,983万円。

JA合併とともに県南7市町村にまたがる広範な生産者の野菜を扱っています。また、パン工房「クーロンヌ」、バウムクーヘン・ギフトセンター「つか本」、手打ちそば「そば処 善」を併設し、地域住民の生活に幅広いサービスを提供しています。



本店に併設された「サンフレッシュ土浦店」



パン工房「クーロンヌ」



バウムクーヘン等「つか本」



そば処「善」

### 【地域農業への貢献活動】

#### <地域農業への貢献活動「ヨリアイ農場」の取り組み>

平成26年2月、旧JA土浦において青年部とJAが協同で地域農業の未来と担い手農家を応援するテーマで、「次世代農業プロジェクト」を設立しました。

平成28年度には「ヨリアイ農場」と題し、担い手農家と地域住民が農業体験をする「旬な遠足」を柱とした交流イベントを通して、農ある生活を提供し、地域農業の魅力を発信し続けています。



ヨリアイ農場「土浦梅酒」作りイベント



ヨリアイ農場 農業体験「旬な遠足」

また、「土浦一石の大名」と称したクラウドファンディングによって一般市民からサポーター会員を募り、この活動を支えていただいております。

さらに、地元酒蔵とコラボした収穫体験イベントから生まれた6次化商品「土浦梅酒」の開発・販売や、大手企業と連携した耕作放棄地の開墾による体験型農園の開設・運営など、JA水郷つくばの地域農業への貢献活動の看板として取り組みを広げています。

## (2) 自己改革の取り組み

所得増大に向けた「販売力強化」への取り組みとして、第三者認証GAPの取得を推進し、「霞ヶ浦蓮根部会GAP推進班、施設園芸水耕みつば部会、田村蓮根部会GAP推進班、さやいんげんGAP推進班、大根生産部会GAP推進班、千代田野菜部会GAP推進班、阿見そば部会GAP推進班」が取得しました。



県GAP第三者認証制度認証交付式

農産物のブランドイメージ向上に向け、テレビ等のマスコミを活用してのトップセールス、「JA水郷つくばれんこんチャンネル」や「牛久河童大根のインスタグラムアカウント」等のSNSを活用しての情報発信に努めています。

## (3) 地域貢献活動の取り組み

地域貢献活動として、JA水郷つくば少年野球大会の開催や管内高校運動部への地場産特産品の贈呈、土浦一高華道部への練習用資材の提供や、学校給食への地場産野菜への提供等、地元学生に対する支援を行っています。

また、地域の企業や若手生産者組織である「ヨリアイ農場」と連携して体験型農園や収穫体験を実施しています。植え付け・収穫・そば打ち体験等、イベントを実施し地域の消費者との交流や食育活動を行っています。

また、栄養や食料の摂取を学校給食に頼っている子どもたちのため、フードバンク茨城やNPO団体と協力し、食支援も行っています。

さらに、町の商店減少、高齢化社会に対応するため日常の買い物にお困りの方を支援するために、かすみがうら市内で農産物直売所サンフレッシュ霞ヶ浦店による移動販売を行っています。

コロナ禍においては、JA厚生連（土浦協同病院、JAとりで総合医療センター）へマスクの寄贈、職員による協同病院周辺の草刈りや、千代田梨部会による看護師さんへの梨を贈呈など、コロナと闘う病院や看護師さんにエールを送りました。



少年野球大会を開催



土浦一高華道部に練習用資材を提供



職員「草刈り」ボランティア



NPO団体を通じて食支援

#### （４）組織・事業基盤の整備取り組み

令和2年4月新本店及びサンフレッシュ土浦店が土浦市小岩田西にオープンしました。郊外型の直売所が多いなかで、街の中に消費者目線をもつ直売所を造りました。併設店舗と連携して、特産品であるれんこんを活用して6次産業化にも積極的に取り組んでいます。

また、令和3年4月から持続可能な経営基盤の確立・強化に向け営農・経済部門を中心とした17のソリューションに取り組みを始めました。ソリューションを実行し、「農家との繋がり」と職員を大事にし、持続化可能な農協経営を目指す」「全国に誇る特産物れんこん」の2つを軸に、「JA水郷つくばの認知度を全国に広げる」と「事業利益の安定的な確保」を掲げ、「夢見る農協」から「夢を叶える農協」への変革を目指しています。

## 5. 事業成績並びに財産及び損益の状況

※平成31年2月1日合併のため、令和元年度からの記載とした。

(単位：千円、%)

区 分	項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財務	事業利益							217,837	213,933	345,466
	経常利益							337,151	338,718	482,419
	当期剰余金							357,372	211,992	329,250
	総資産							256,375,482	260,711,166	261,927,264
	純資産							9,511,898	9,693,976	10,074,251
	単体自己資本比率							11.29%	11.48%	11.78%
信用事業	貯金							241,743,544	245,190,191	246,397,271
	預金							191,458,655	185,922,507	183,572,094
	貸出金							48,840,398	49,509,493	51,168,588
	有価証券							1,601,398	10,153,433	12,477,387
	うち国債							709,731	7,988,592	10,158,025
共済事業	長期共済保有高							520,727,221	502,594,676	480,311,686
	短期共済新契約掛金							841,076	836,474	839,872
購買事業	購買品供給高							3,511,026	3,350,658	3,250,953
販売事業	販売品販売高・取扱高							9,685,650	9,487,069	9,477,011
保管事業	取扱高							14,063	12,899	15,838
加工事業	取扱高							193,211	141,240	149,733
利用事業	取扱高							1,136,675	948,456	898,525
宅地等供給事業	取扱高							21,226	17,723	14,766